

高齢者の靴に反射材を貼って交通事故を防止

～愛知県警察本部などと合同で交通安全啓発活動を実施～

日本損害保険協会中部支部委員会(委員長:川杉 朋弘・東京海上日動火災保険株式会社 常務執行役員)では、愛知県警察本部と協力し、交通事故防止啓発チラシ4万枚を作成し、愛知県警察本部に寄贈しました。

そして、12月21日(土)に名古屋市千種区の覚王山日泰寺で、愛知県警察本部、千種警察署、千種区役所等と合同で、チラシの配布、反射材やLEDバンドの活用を呼びかける交通安全啓発活動を行いました。

愛知県内の交通事故による死者数は、12月9日現在で131人であり、そのうち65歳以上の高齢者の死者数は全体の約半数を占めています。また、歩行中死者の多くは視認性の悪い夕暮れ時に事故にあっています。

そこで、覚王山日泰寺の縁日に訪れる高齢者に、反射材付きチラシを手渡し、希望者にはその場で靴などに反射材を貼り、事故への注意を呼びかけました。靴に反射材を貼り終えた方からは、「散歩中に暗くなってくると危ないと思っていた。これで車の運転手に気づいてもらえれば安心。」などのコメントがありました。

当支部では、今後も愛知県警察本部等と連携して高齢者を中心とした交通事故防止に取り組んでいきます。



チラシ配布の様子



反射材を貼り付ける様子



反射材・LEDバンド普及啓発チラシ